

# 北方領土

しま  
四島想い 心に点す 返還の火



独立行政法人 北方領土問題対策協会

# 北方領土問題とは・・・

北方領土は、北海道本島の北東洋上に位置する、<sup>はほまいぐんとう</sup>歯舞群島、<sup>しこたんとう</sup>色丹島、<sup>くなしりとう</sup>国後島及び<sup>えとろふとう</sup>択捉島の四島です。

北方領土は、日本がロシアより早くその存在を知り、多くの日本人がこの地域に渡り生活し、父祖伝来の地として受け継いできたものです。

1855年2月7日、日本とロシアは<sup>にちろつこう</sup>日魯通好条約を結び、当時自然に成立していた択捉島とウルップ島<sup>にちろつこう</sup>の間の国境をそのまま確認しました。それ以降も北方領土が外国の領土となったことは一度もありません。

今日に至るまでソ連、ロシアによる北方領土の不法占拠が続いており、日露間ではいまだ平和条約が締結されていません。

## 北方領土問題の経緯

日本領
  日本・ロシア混住地
  ロシア/ソ連領
  帰属未定



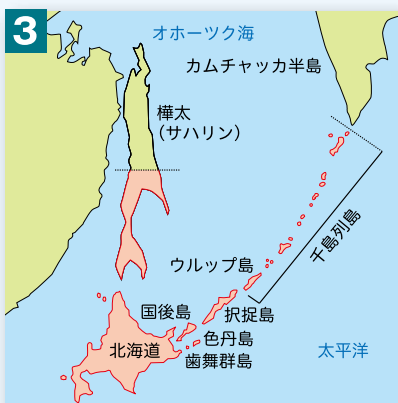
1855年(安政元年) <sup>にちろつこう</sup>日魯通好条約

日露両国の国境は、択捉島とウルップ島の間に決められ、北方四島は日本の領土、ウルップ島から北の千島列島はロシア領として確認され、樺太は両国民の混住の地と決められました。



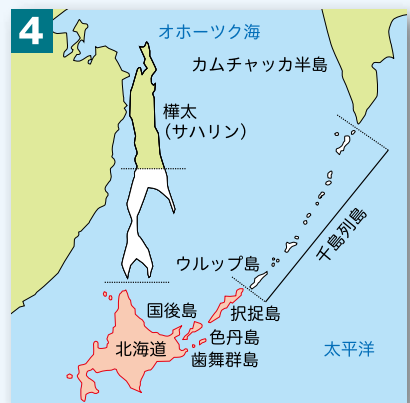
1875年(明治8年) <sup>からふとちしまこうかん</sup>樺太千島交換条約

日本は、ロシアから千島列島を譲り受けるかわりに、樺太全島を放棄しました。日本に譲渡される千島列島の18の島名を一つ一つ挙げていますが、千島列島には北方四島は含まれていません。



1905年(明治38年) ポーツマス条約

日露戦争の結果、北緯50度以南の南樺太が日本の領土となりました。



1951年(昭和26年) サンフランシスコ平和条約

日本は、千島列島と南樺太の権利、権原及び請求権を放棄しました。しかし、放棄した千島列島には北方四島は含まれていません。

# 北方領土の面積と距離

## 面積の比較

3,167km<sup>2</sup>



えとろふとう  
択捉島

1,489km<sup>2</sup>



くなしりとう  
国後島

248km<sup>2</sup>



しこたんとう  
色丹島

95km<sup>2</sup>



ほほまいくんとう  
歯舞群島

1,208km<sup>2</sup>



沖縄本島

855km<sup>2</sup>



佐渡島

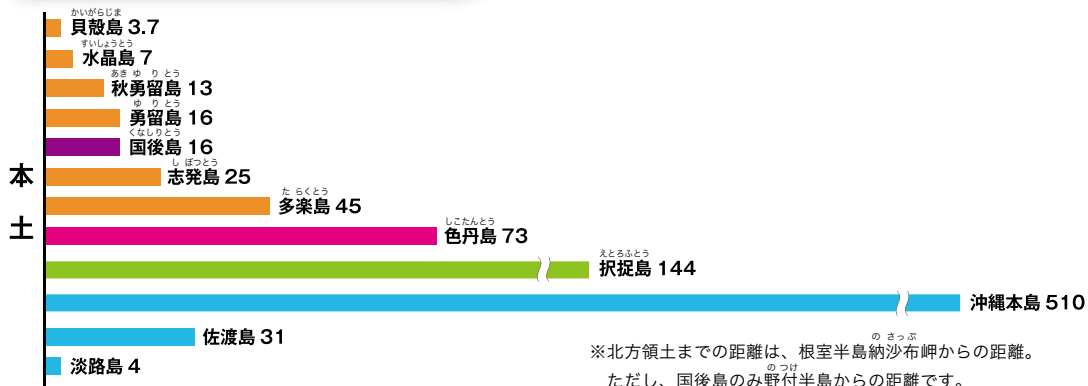
592km<sup>2</sup>



淡路島

令和5年国土地理院  
「全国都道府県市区町村別面積調」による

## 本土からの距離の比較(単位:km)



※北方領土までの距離は、根室半島納沙布岬からの距離。  
ただし、国後島のみ野付半島からの距離です。

# 北方領土の自然



ちやちやだけ  
爺爺岳 (国後島)



ビラ海岸 (択捉島)



イネモシリ (色丹島)



写真提供: (公社)千島歯舞諸島居住者連盟  
ラッキベツの滝 (択捉島)



ぜいごまえ  
税庫前 (歯舞群島・勇留島)

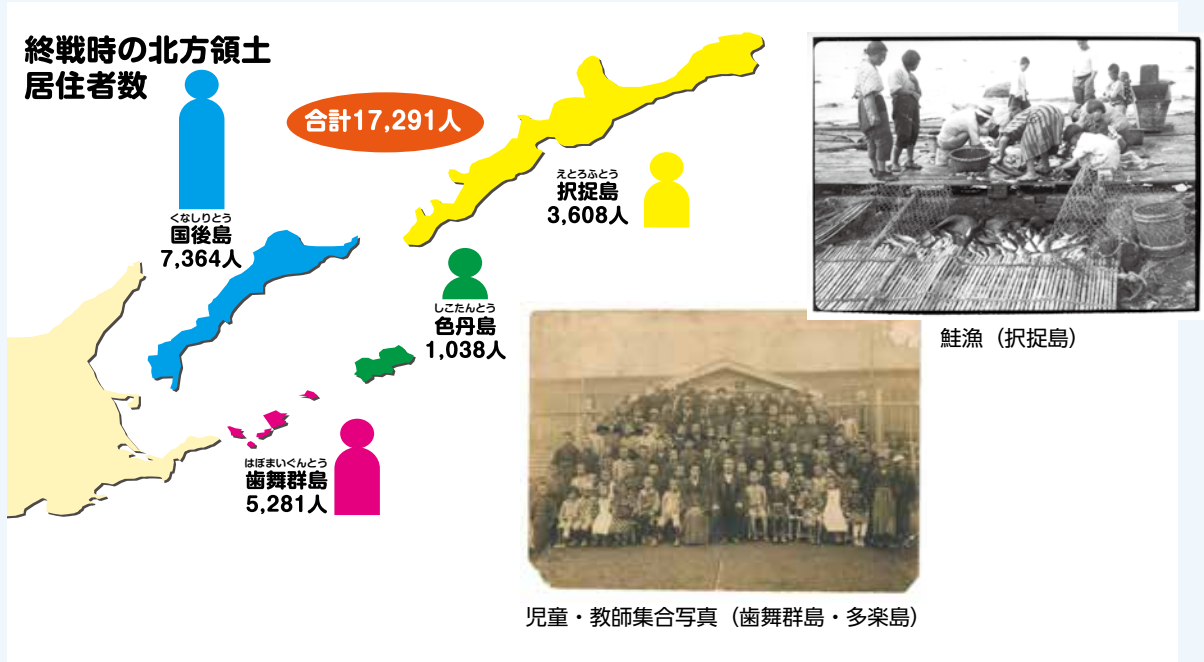


ざいもくいわ  
材木岩 (国後島)

# 北方領土の元居住者

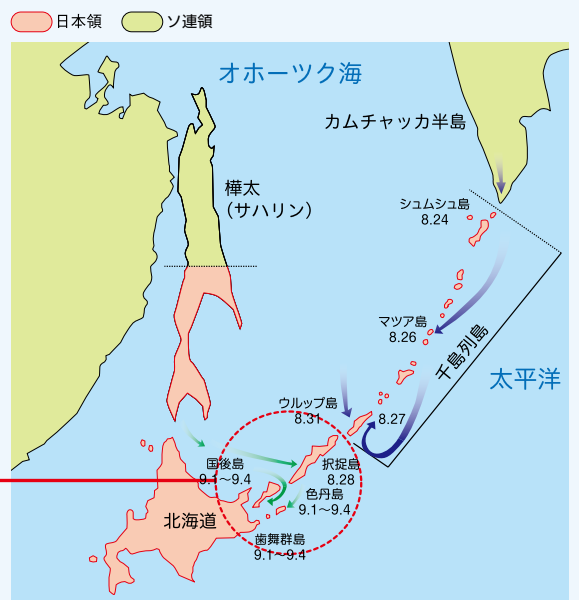
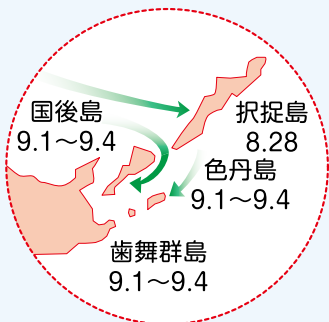
北方領土には、終戦時3,124世帯、17,291人の日本人が住んでいました。(平成20年3月千島歯舞諸島居住者連盟調べ:元居住者の人数は、昭和20年8月15日現在において6月以上北方四島に居住していた者の数)

島民の約半数は、ソ連軍の厳しい監視の目をくぐって故郷の島々を脱出しました。それ以外の島民はそのまま残りましたが、昭和22年から23年にかけて劣悪な環境の樺太経由の引き揚げを余儀なくされました。



## ソ連軍侵攻図

1945年(昭和20年)、ソ連は「日ソ中立条約」を一方的に破棄して対日参戦しました。ソ連軍は終戦後の同年8月28日から9月4日までの間に北方四島を武装解除し、遅くとも9月5日までに北方四島を占領したとされています。





# 先人たちが築いた北方領土

日本が北方領土を含む北方の島々のことを知ったのは、今からおよそ400年以上も昔のこととされています。これは1615年(元和元年)のことを記した松前藩の「新羅の記録」によって明らかです。1644年(正保元年)、江戸幕府は「正保御国絵図」を編さんするため、諸藩に「国絵図」の提出を命じましたが、このとき松前藩が幕府に提出した自藩領地の地図には「クナシリくなしり」(国後)、「エトホロえとろふ」など39の島々が書かれています。



正保御国絵図 所蔵 国立歴史民俗博物館

ロシア人が初めて千島列島を探検したのが1711年(正徳元年)のことですから、約100年も前から日本は北方の島々とかかわりをもっていたのです。また、1721年(享保6年)、ロシアの探検家が作成した地図には、北方四島の島々が「オストロワ・アポンスキヤ」(日本の島々)と明記されています。

1700年代の後半になると、幕府は、みずから北方の島々の経営に本格的に取り組むようになり、国後島、択捉島を中心に最上徳内、近藤重蔵、高田屋嘉兵衛のような勇敢な日本人が活躍しました。



最上徳内



近藤重蔵



高田屋嘉兵衛

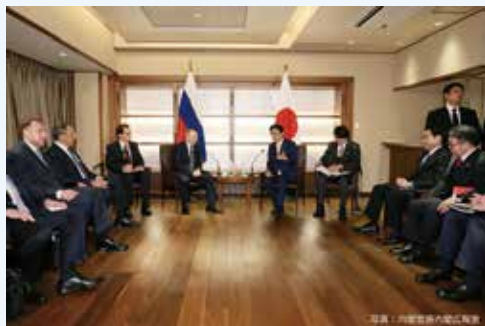
# 北方領土問題についての政府の基本的立場

- ① はほまいぐんとう しこたんとう くなしりとう えとろふとう 歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島からなる北方四島は、いまだかつて一度も外国の領土となることがない我が国固有の領土である。我が国としては、我が国固有の領土である北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結するという一貫した基本方針の下、粘り強い交渉を継続する。
- ② 1993年(平成5年)の東京宣言以降、日露間においては、「北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結する」という共通の交渉指針を繰り返し確認している。  
同宣言は、北方領土問題を、(1)歴史的・法的事実に立脚し、(2)両国の間で合意の上作成された諸文書、及び(3)「法と正義の原則」を基礎として解決するという明確な交渉の指針を示している。
- ③ 北方領土問題の解決に当たって、我が国としては、(1)北方四島に対する我が国の主権が確認されることを条件として、実際の返還の時期、態様については、柔軟に対応する、(2)北方領土に現在居住しているロシア人住民については、その人権、利益及び希望は、北方領土返還後も十分に尊重していく、こととしている。

※これまでの外交交渉はこちら⇒  
(独立行政法人北方領土問題対策協会 WEB ページ)



東京宣言



山口県長門市での会談

## 最近の動き

日本政府は、北方領土問題については、ウクライナ情勢によって日露関係は厳しい状況にありますが、「領土問題を解決して平和条約を締結する」との基本方針を堅持していく考えです。

北方四島交流等事業について、令和4年9月にロシア政府が四島交流及び自由訪問に係る合意の効力を停止する旨の政府令を公表したことは、極めて不当であり、断じて受け入れられません。

日露関係の今の状況は全てロシア側に責任があり、残念ながら現在何か具体的に申し上げられる状況にありませんが、北方墓参を始めとした北方四島交流等事業の再開は、今後の日露関係の中でも最優先事項の一つであり、ご高齢となられた元島民の方々のご要望に何とか応えたいという思いはいささかも変わりはありません。

# 北方領土返還要求運動

北方領土の返還を実現するためには、国民一人一人がこの問題を正しく理解し関心を高め、政府の外交交渉を後押しすることが大切です。そのため2月と8月を「北方領土返還運動全国強調月間」と定め、全国で大会や研修会、パネル展、街頭啓発など活発な運動が行われています。また、1981年(昭和56年)、政府は閣議了解により、2月7日を「北方領土の日」に決めました。この2月7日は、1855年(安政元年)、日露両国が両国の国境を平和裏に択捉島とウルップ島との間とした「日魯通好条約」が署名された日です。



街頭啓発



青少年等現地視察事業

# 北方四島交流事業

ソ連側から日本国民と四島在住のロシア人との交流を行うことが提案され、1992年(平成4年)から旅券(パスポート)・査証(ビザ)なしの北方四島交流事業が始まりました。この交流事業は、北方領土問題の解決を含む日露間の平和条約締結問題解決のための環境整備を目的として、日本国民と四島在住のロシア人との相互理解を促進するための事業です。



訪問事業 (コスプレ交流)



受入事業 (中学生との交流)



# 啓発映像の紹介

## アニメーション作品「エトピリカ～想いを紡ぐ鳥～」

(独立行政法人北方領土問題対策協会制作)

### 【ストーリー】

主人公は、戦時中の北方領土にタイムスリップしてしまう。

終戦を迎え、ソ連兵に占領された島での暮らし、突然告げられた島からの引き揚げ命令。その時、主人公が見たこと、感じた思いとは。

※同作品はDVDによる貸出の他YouTubeで配信しています。



## アニメーション映画「ジョバンニの島」

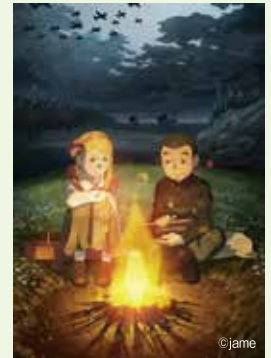
(一般社団法人日本音楽事業者協会 創立50周年記念作品) 8カ国 13映画祭 15賞受賞

### 【ストーリー】

北方四島のひとつ色丹島にソ連軍が進駐。二度と故郷に帰ることが出来なくなった人たちの悲しみ、父との再会を想い続ける幼い兄弟。過酷な運命に翻弄されながらも誇り高く生きる人々を描いた物語。

※同作品はDVD/ブルーレイにて商品化されております。

販売元 (株)ポニーキャニオン <https://www.ponycanyon.co.jp/>



北方領土イメージキャラクター

# エリカちゃん



北方領土のイメージキャラクター、エリカだピィ！  
エトピリカの女の子で、みんなに北方領土について  
知ってもらいたくて、うまれたんだピィ♪  
それぞれの島に住んでいるお友達と全国を飛び回って  
いるから、見つけたら優しく声を掛けてピィ♪



択捉島  
エリオくん

くいしん坊の大食い  
地元の食材を使った  
料理が得意



国後島  
エリオくん

エリカちゃんの  
ボーイフレンド  
アウトドア好きの  
登山家



色丹島  
エリオシンくん

植物や鳥など地元自然  
の生態に詳しい  
ナイーブでインドアな  
ハカセタイプ



歯舞群島  
エリナちゃん

エリカちゃんの親友で  
活発な女の子  
地元漁師の娘 (カニ漁)



<https://www.facebook.com/hoppouyoudo.erika/>



[https://www.instagram.com/hoppou\\_erika/](https://www.instagram.com/hoppou_erika/)



[https://twitter.com/hoppou\\_erika](https://twitter.com/hoppou_erika)



[https://twitter.com/hoppou\\_erio](https://twitter.com/hoppou_erio)



独立行政法人 北方領土問題対策協会

〒110-0014  
東京都台東区北上野1-9-12 住友不動産上野ビル9階  
電話 03(3843)3630 FAX 03(3843)3631

<https://www.hoppou.go.jp/>



発行:令和5年12月